

平成20年度 環境省の環境教育／ESD関連の取組について

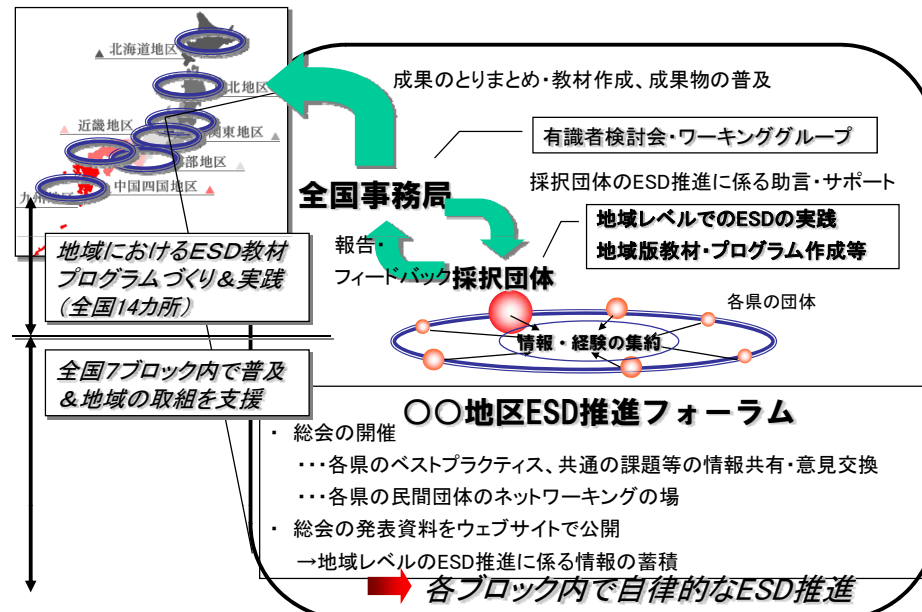
(背景)

- ・ 環境問題の解決には、社会経済活動やライフスタイルの変革を担う人づくり＝環境教育/ESDの推進が不可欠
- ・ 21世紀環境立国戦略においても、戦略の一つに「環境を感じ、考え、行動する人づくり」を提示

持続可能な開発のための教育（ESD）の推進

① 地域における実践

国連持続可能な開発のための教育（ESD）の10年促進事業



② 高等教育機関における取組

(新) 持続可能な開発のための教育（ESD）を担う アジア高等教育機関人材育成事業

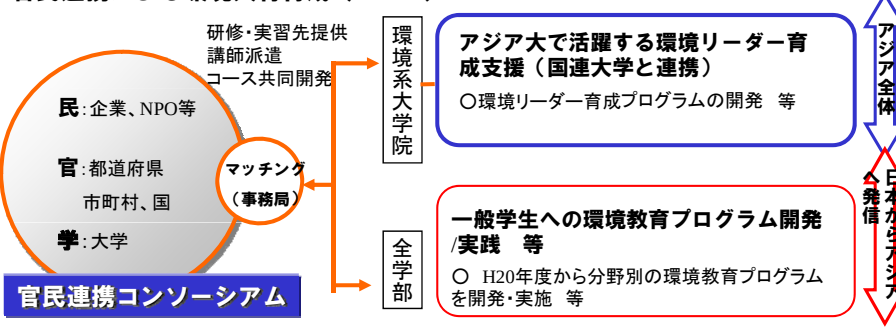
環境人材育成のニーズと課題

- 持続可能なアジアの実現には、あらゆる分野で、企業活動等の経済社会システムのグリーン化に取り組む人材(環境人材)が不可欠。
- 大学は、専門性を育む等、職業や仕事の方向性に大きな影響を与え、環境人材の育成の場として適切
- 企業活動等現場での研修、実習、主体的活動等を通じた育成が必要だが、現時点では質・量とも不十分

2つの閣議決定

21世紀環境立国戦略「アジアの環境リーダー育成イニシアティブの展開」
イノベーション25 「世界の環境リーダー育成」

官民連携による環境人材育成 (H20～)



21世紀環境教育プラン

～いつでも、どこでも、誰でも環境教育AAAプラン～

- 「21世紀環境教育プラン」に基づき、文科省等の関係府省間の一層の連携により、家庭、学校、地域、企業等における生涯にわたる質の高い環境教育・学習の機会の多様化を図ることで、いつでも(Anytime)、どこでも(Anywhere)、誰でも(Anyone)環境教育を受けることのできる環境整備を図る。
- 「21世紀環境教育プラン」 関連の新規予算
 - ・ 21世紀環境教育AAAプラン推進事業 (55百万円)
 - － 発達段階に応じた環境教育の「ねらい」等策定に関する調査研究
 - － 21世紀子ども放課後環境教育プロジェクト
 - ・ 「五感で学ぼう！」子ども自然体験プロジェクト (26百万円)

展開イメージ図

